

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番 号	11	事業名	都市公園事業	路線又は箇所名等	長生の森公園				
事業所管課	公園緑地課		事業主体			千葉県			
事業化年度	H5	用地着手年度	H5	工事着手年度 工事終了(認可)年度	H8 H34	再評価の理由	再々評価		
費用便益比 B/C	1.31 (1.10)	総費用	263.5億円 (22.2億円)	総便益	344.4億円 (24.4億円)	基準年	H29	供用開始 年度	H14

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

本公園は茂原市の市街地から北西約2.5km丘陵地にあり、「人間・スポーツ・環境」をテーマとし、山武・長生・夷隅地域のスポーツ・レクリエーション活動の中心的な役割を担う他、災害時の一時避難場所などの防災機能も併せ持つ、計画面積48.2haの広域公園として整備するものである。公園南側は野球場などの運動施設を配置したスポーツゾーン、公園北側には豊かな自然環境を活かし、多様なレクリエーション活動に対応した施設を配置した多目的広場ゾーンや体験広場ゾーンなどにより構成されている。

【事業の進捗状況】（平成29年度末見込み）

用地買収は、平成5年度から着手し、ほぼ取得を終えている。公園整備は、平成8年度から工事に着手し、公園南側の野球場、庭球場、ゲートボール場などの10.2haを平成16年度までに供用している。また、多目的ゾーンを中心とする公園北側区域については平成20年度から工事に着手している。

	全体計画	投資事業費	進捗率
総事業費	140.7億円	125.2億円	89.0%
うち用地費	67.5億円	67.4億円	99.9%
うち工事費	73.2億円	57.8億円	78.9%

【社会経済情勢等】

- 1 大規模災害発生時に必要な施設の整備が求められており、平成6年に茂原市が広域避難場所に指定したことに加え、平成26年には千葉県が広域防災拠点に指定している。
- 2 平成25年に圏央道が開通したことに加え、公園近傍に(仮称)茂原長柄スマートICを新たに整備中である。
- 3 県の総合計画『次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン』により地域のスポーツ・レクリエーションや避難場所などの多様な機能を有する公園として、整備を推進することが位置付けられていることに加え、公園南側区域の開設以降、利用者は増加しており、今後も地域の中心となるレクリエーション施設の充実が求められている。
- 4 地元市や利用者からも未供用区域における早期整備が望まれている。
- 5 平成29年6月の都市公園法の改正により、民間活力による新たな都市公園の整備手法が創設された。

【対応方針（案）】

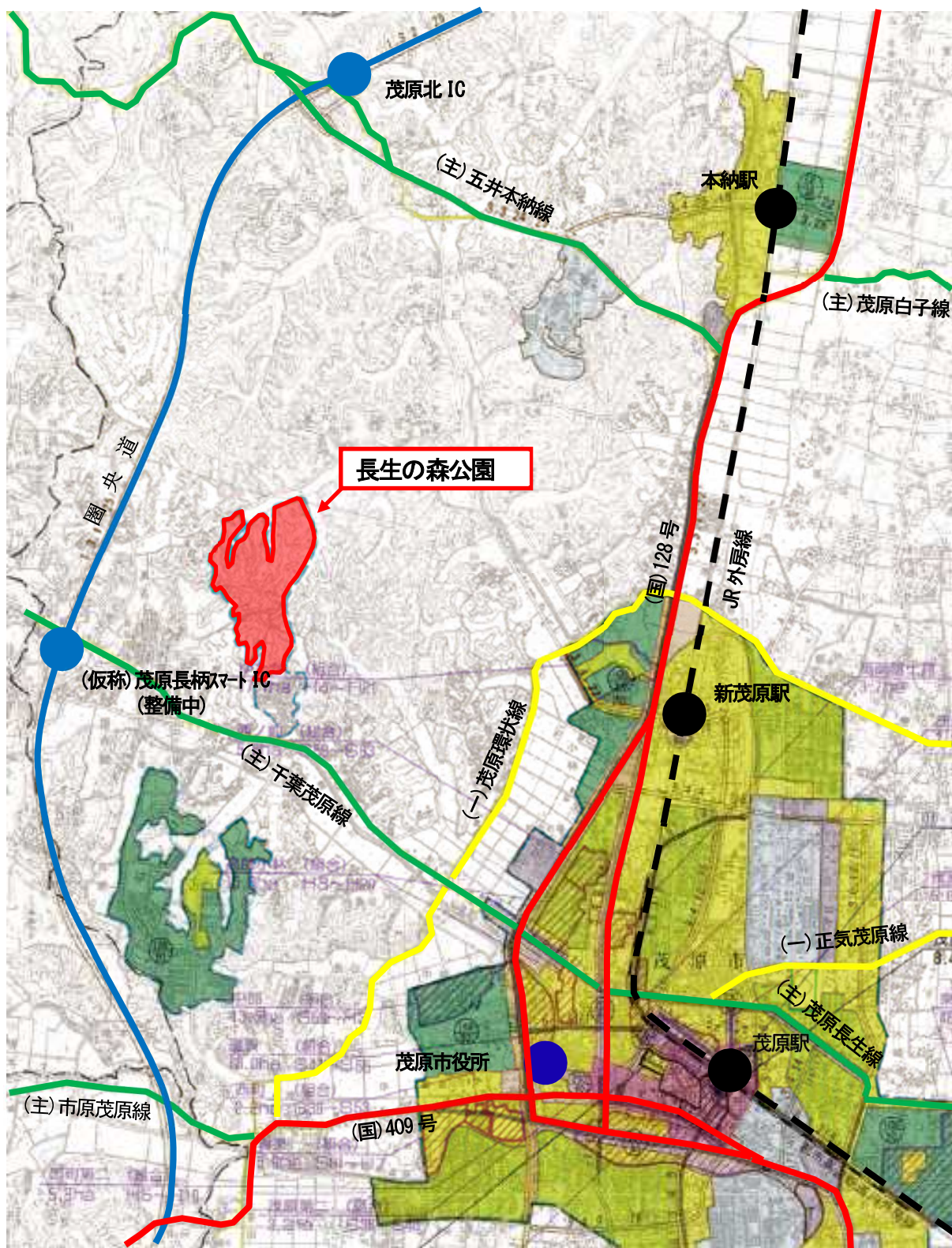
- 1 広域避難場所や広域防災拠点に指定されており、地域防災計画で重要な公園であること。
- 2 (仮称)茂原長柄スマートICの整備により、公園へのアクセスがさらに向上し、地域の魅力アップを図ることで、より広域的な集客効果が見込め、公園利用者の増加が期待できること。
- 3 上位計画への位置付けや、地元からの早期完成の要望がある状況において、多目的広場ゾーンを中心とした公園北側区域が完成することにより、自然環境を活かした体験活動などのレクリエーションが可能となり、既に供用されている公園南側のスポーツゾーンと併せ、多様なニーズに対応できること。
- 4 公園北側区域については、来年度に多目的広場が完成予定であること。また、残る体験広場等は、現況地形を活かした整備を進めるとともに、民間活力導入の検討も行うこと。

以上のことから、公園整備の必要性が高いことに加え、費用便益比は1.31と費用対効果も見込めることから、今後も事業を継続する。

【別紙様式 4】

事業概要図

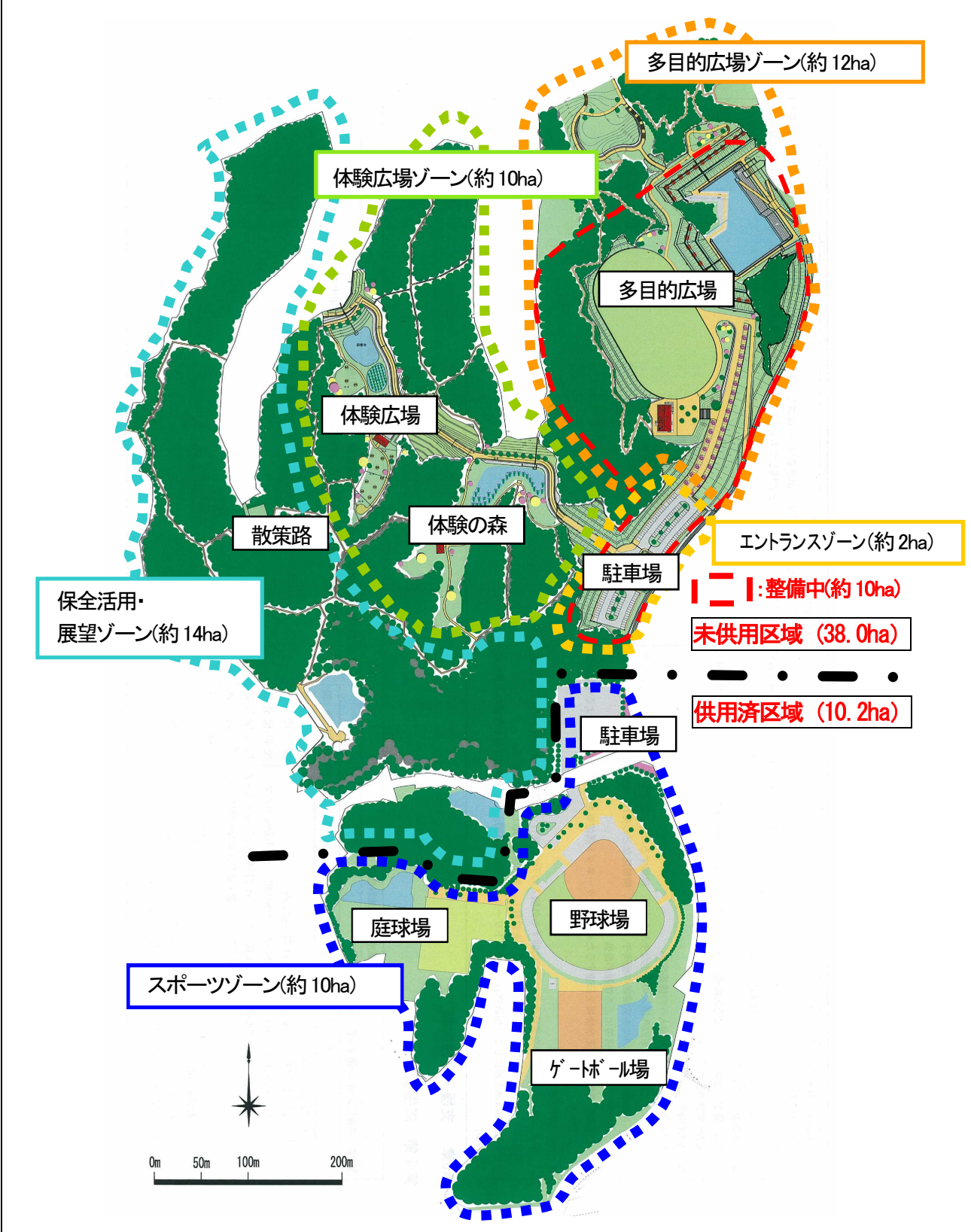
番号	11	事業名	防災・安全交付金事業	路線又は箇所名等	長生の森公園
----	----	-----	------------	----------	--------



- 【凡例】
- : 自動車専用道路
  - : 一般国道
  - : 主要地方道
  - : 一般県道
  - - : 鉄道

事業概要図

番号	11	事業名	防災・安全交付金事業	路線又は箇所名等	長生の森公園
----	----	-----	------------	----------	--------



【別紙様式 5】

再々評価事業に関する調書

番号	11	事業名	防災・安全交付金事業	路線又は箇所名等	長生の森公園	
事業化年度	H5 年度	用地着手年度	H5 年度	工事着手年度	H11 年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度（基準年）	H24 年度	供用開始年度	H14 年度	対応方針	継続	
B/C	1.35	総費用	202.2 億円	総便益	273.2 億円	
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業を継続とするが、事業規模の縮小や、社会情勢の変化や地域特性を踏まえ、整備方針を再検討していくべきとの意見を受けている。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定 of 5 年後の進捗状況						
	計 画	進捗状況	5 年後の想定進捗状況			
全体事業費	140.7 億円	117.2 億円 (83.3%)	140.7 億円 (100.0%)			
用地取得面積	48.2ha	47.7ha (99.0%)	48.2ha (100.0%)			
供用面積（延長）	48.2ha	10.2ha (21.2%)	48.2ha (100.0%)			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度（基準年）	H29 年度	供用開始年度	H14 年度	対応方針	継続	
B/C	1.31	総費用	263.5 億円	総便益	344.4 億円	
現在の進捗状況（平成 29 年度末見込み）						
	計 画	進捗状況				
全体事業費	140.7 億円	125.2 億円 (89.0%)				
用地取得面積	48.2ha	47.7ha (99.9%)				
供用面積（延長）	48.2ha	10.2ha (21.2%)				
再評価後の経過及び処理状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年度 事業再評価</li> <li>・ " 事業計画の変更認可</li> <li>・平成 20 年度 詳細設計（北側区域の一部）</li> <li>・ " 工事着手（北側区域の一部）</li> <li>・平成 24 年度 事業再々評価</li> <li>・平成 29 年度 事業再々評価</li> <li>事業計画の変更認可</li> <li>・平成 34 年度 事業完了（予定）</li> <li>・平成 35 年度 全面供用開始（予定）</li> </ul>					